

議会だより そとがはま

第57号

令和元年8月

議会を傍聴しませんか

◆次の定例会予定

9月5日(木)～12日(木)

外ヶ浜町公式ホームページ ● <http://www.town.sotogahama.lg.jp>



6/29「風のまちこども園運動会・よさこい」(蟹田体育館)

目次

- 第114回6月定例会／2～3
- 一般質問：6議員が登壇／4～9

- 議会活動報告／10～12

令和初・改選後初の定例会

6議員が一般質問で問う

6月定例会

令和元年第114回定例会は、6月11日から13日までの3日間の日程で開催され、補正予算案、町条例の一部改正案、人事案件など14件を審議し、原案のとおり可決・同意しました。

一般質問は6人の議員が登壇しました。内容については、通告順に4～9ページに掲載しています。



令和元年度補正予算案

幼保の無償化

問 幼児教育・保育無償化に伴うシステムは、どのような改修が行われるのか。また、10月以降に無償化ということだが、それに伴う町の財政負担はどのくらい見込まれているのか。

答 改修の内容は、現在使用している、保育料算定のための子ども・子育て支援システムに、無償化シ

ステムに対応するパッケージの導入をすること。



こども園の園児たち

観光施設管理

問 観光施設管理費の修繕料について、青函トンネル記念館の駐車場前のト

町の財政負担は、5月1日時点が無償化対象となる町の保育料の合計が56万9,550円で、この4分の1が町の負担となるので、概算で月額14万2,388円、年間で170万8,650円となる。

人事案件

6月定例会では、議会選出の監査委員の選任と、教育委員の任命が行われました。

投票の結果、監査委員には高坂茂議員の選任に、教育委員には一戸光子氏の再任に、それぞれ賛成多数で同意しました。

また、9月30日に任期が満了となる人権擁護委員・大久保睦藏氏が引き続き推薦され、適任と答申することになりました。

意見書

「新たな過疎対策法の制定に関する意見書(案)」が議員発議され、採決の結果可決された本意見書は、次の各大臣に送付されました。

内閣総理大臣・総務大臣・財務大臣・農林水産大臣・国土交通大臣

◎条例案審議

定例会において審議し可決された町条例の一部改正は、次のとおりです。

- 外ヶ浜町災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例
- 外ヶ浜町介護保険条例の一部を改正する条例

浄化センター

問 浄化センターの機械更新事業の分で、それぞれ三厩、平館地区の浄化センターができてからの年数を考えれば、この先一定の年数でこれくらいのもは更新していかなければならないという、試算などをしていくものかどうか。

改善できるところは早急に改善したい。

答 今回の機械更新工事については、三厩浄化センターの曝気槽のモーター

介護サービス

問 年間高額介護サービス費について、どのような内容なのか。

答 年間高額介護サービス費は、介護保険対象者が介護サービスを利用する場合にお支払いいただいている利用者負担に月々の負担の上限額を設定しているが、1カ月に支払った合計額が上限を超えた場合に、払い戻しされるという制度である。



ふまねっと体操 (蟹田地区)



石岡 勉議員

◆質問／今津、舟岡地区においてそれぞれ2回説明会を実施した事は聞いていますが、その後について伺う。

■町長／2回目の説明会で、外ヶ浜漁業協同組合長より、今まで町と外ヶ浜漁業協同組合が共同で取り組んだ建設計画を無に帰する、重大な否定的



ホタテ作業の様子

ホタテ残渣処理について

■答弁▼圏域外処理を基本とする

な発言があったため、当地への建設を断念した。今後は外ヶ浜漁業協同組合が土地を手当てし、確保できたなら、町として再度の協議に応ずる事とした。また、2020年春の完成は見込めない事から、今年度及び令和2年以降は圏域外処理（岩手県北）を基本とするという事で、御理解願いたい。

◆質問／蟹田ぼっぼ湯の2ヶ所のサウナが半年以上、使用禁止となっている。改修の検討とその金額について伺う。

■町長／2つとも修理不能とメーカーから解答が

出ており、2つ総入れ替えとなる事から財政的に目処は立っていない。■総務課長／概算だが全面改修で約800万円くらいの見積りとなっている。

平館ちゃぼらつと改修について

◆質問／当温泉の給・排水パイプの詰まりと給湯ボイラーの故障が言われているが、改修の予定はあるのか。

■町長／利用者が集中する時期や、時間帯に給湯能力が追いつかず、機器のエラーが発生する事から、今後能力の高い機器に変えるなど考えていきたい。



ぼっぼ湯

町営循環バスについて

◆質問／町営循環バスで、蟹田中師地区のスーパを回ってほしいとの声が多く出されている。3月議会では検討すると答弁したが、検討したのならその内容を伺う。

■総務課長／蟹田地区の



許認可が令和2年9月までとなっており、次の許認可までに大幅なルートの変更等、運輸支局等各機関と協議しながら要望を取り入れたルート変更をしたい。

◆再質問／乗務員のアルコールチェックは実施しているのか。

■町長／アルコールチェックは第三者の確認が必要であり、検討したい。

◆要望／検討したいとは、実施していないと理解した。事故や問題が起きる前に、今すぐ実施せよ。

町民が主体の行政組織になっているのか

■答弁▼役場全体の事務機関の改善について検討する



福井洋一議員

◆質問／外ヶ浜町が誕生以降、行政機構のあり方として総合支所方式がとられ、本庁・両支所において、それぞれ執務が行われ、町民への対応をしている。現在の総合支所方式で町民の方々が目的を達することができ、満足して帰ってもらえているのか。町長は現在の総合支所方式をどのよう

に思われているのか、見解を伺う。

本庁の行政組織の配置について

◆質問／町民の方々が多く来庁する場所として、住民課と福祉課が多いと思うが現在の配置では、本庁に住民課、などわーるに福祉課が配置され、一カ所で用事が足せず非常に不便だという声をよく聞く。町民本位の行政とするため、一日でも早くワンフロア化を実施すべきでないか。

■町長／住民の利便性や行政の効率化、スリム化を図るためには、ワンフロア、ワンストップサービスが望ましいと考えており、検討を重ねたい。



平館支所の様子

町長の公約について

◆質問／平成29年町長選において主に5つの公約を掲げ、多くの町民の支援を受け、当選している。町民は若くて新しい風を求め、大きな期待を持って見守っていると思う。就任してから既に2年が経過しており、今、掲げ

た公約をどう思っているか。

ホタテ残渣処理施設の経過について

■町長／第一公約に掲げたホタテ残渣の問題を諦めず、今後も外ヶ浜漁業協同組合と協議し進めた。ライスセンターの建設や出産祝い品の贈呈、高校生の通学定期に係る3分の1助成、婚活お米づくり体験事業などを実施している。

◆質問／平成30年3月8日付けのチラシで町民に周知して以来、漁民の皆さんや町民に対して、その後、なんら説明していないように思われる。昨

年の3月以降、この一年間どのような進め方をし、現在、どのような状況になっているのか。

■町長／プロジェクトチームを編成し7回会議を行ってきた。平館地区で土地の交渉を行い、住民説明会を2回開催したが、住民の同意が得られなかった。町の方針としては、土地が決まるまでの間は圏域外処理を中心に考えたい。

◆再質問／5月25日の東奥日報の掲載どおり、町単独の建設から広域での建設へと考え方を変えたのか。

■町長／町が独自でやるのではなく、他の町村も頭を悩ませている。



安藤英博議員

町村合併15年目検証委員会立ち上げを

■答弁▼合併検証アンケート等について検討していきたい

◆質問／町村合併すれば今までよりも町村が豊かになると宣伝されて、町村合併して15年になるう

としていますが、合併したどこの旧町村を見ても、合併前よりも悪くなっているという町民の声が多くなっている。三厩、平

館が支所になって地域住民にさまざまな不便さ、生活への影響が出ている。そこで、この間の問題のあるものは見直していく

ことが、町政の発展にもつながっていくのではないかと検証していく必要がある。

■町長／旧3町村の財政事情が非常に厳しい中で合併をし、新たに外ヶ浜町が誕生して15年を迎え

たが、人口減少や少子高齢化が進み町政運営は今厳しい状況にあると認識している。

◆再質問／全町民から合併検証アンケートを取り、今後の行政に生かしていくことを求める。

■総務課長／議員の質問も踏まえて、合併検証アンケート等について検討してまいりたい。



三厩支所の様子

旧平館小・中学校の空き校舎の今後の活用について

◆質問／平館地区の小中学校が蟹田小中学校に統合となり、平館地区の保育所・学校がなくなり地域住民から活気がなくなり、町村合併しなければ良かったという声が出されている。そこで、多くの町民の声を聞き、廃校を利用してさまざまな活用方法を検討して、地域や外ヶ浜町のために行動していただきたい。

■教育長／久慈市の「あとびる麦生」という廃校を活用し、文化的な施設として全国からのいろいろな芸術家の作品を展示していたり、作品作り

のコーナーなどもあり、非常に参考になった。◆再質問／ぜひ多くの町民の方々が各地域で廃校を

活用している所を視察研修して、参考にしてはどうか。

■町長／さまざまな事例は全国にたくさんあるが、私も何点か見たことがある。早い時期に各団体や

役場職員などを委員として、活用検討委員会を設置することとしている。外ヶ浜町、平館に何がふさわしいのかこれから検討になるが、今後参考になるものがある場合考えていきたい。



統合後最初の小中学校合同運動会

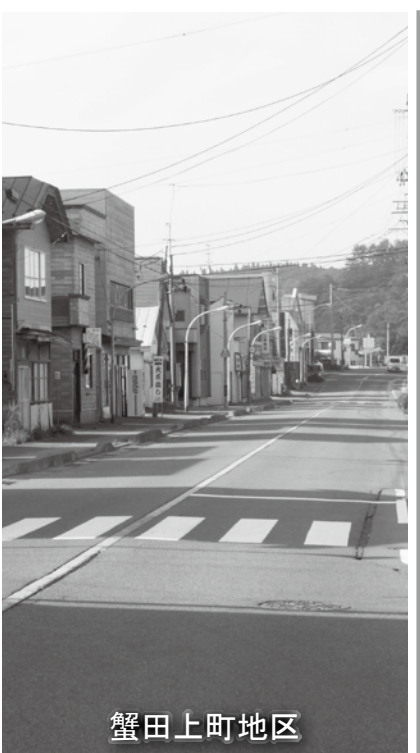


記田慶市議員

公示地価下落率青森県1位の

蟹田地区の原因究明と対策は

■答弁▼各課題の創意工夫と個性ある町づくりに取り組んでいく



蟹田上町地区

原因究明と回復対策について伺う。

■町長／毎年1月1日に国土交通省が発表している。この中で当町では住宅地2地点と商業地1地点があり、今回の調査で

指摘のとおり県下で下落率が大きい地点として公表された。主な原因として考えられるのは、外部からの転入者がほとんど見られないこと。また景

気が穏やかに回復しているものの、人口及び世帯数が減少していることや若年層の都市部流出などの過疎化の進行等によるものと考えている。そして店舗等に一般住宅が混在する商業地域であり、店舗の新規参入が皆無で、また、投資意欲が衰退している。青森市など大型店への顧客の流出が続いていることも原因と思われる。このようなことから人口減少、雇用対策等

に創意工夫を凝らし、また特産品の販路拡大や、町の魅力を発信しながら個性ある町づくりに取り組んでいく。

陸奥湾洋上風力発電について

◆質問／昨年度成立した洋上風力発電普及法に基づき、国が進めている調査に陸奥湾西岸も適地として県が手を挙げた。将来外ヶ浜町の経済に大きな効果が見込まれる。指

定に向けて町の考え方を伺う。

■町長／陸奥湾海域は洋上風力発電が可能エリアとして環境省のマップに示されているが、防衛上の課題があり、防衛省との調整が必要。国や県の

動向を注視していく。

◆質問／4年前に弘前大学が調査し、全国でも例がない3重の堀の環濠集落で規模も大きく保存状況もよいと発表されたが、その後の状況について伺う。

■教育長／弘前大学の山本遺跡測量調査によると堅穴住居跡と考えられるもの80ヶ所、土杭や井戸跡と見られるもの8ヶ所、3重の堀と土を盛った土塁と、3つのエリアに分かれて行われている。その後の調査は行われていない。大平山元遺跡の整備を最優先に進めたい。

◆質問／青森県40市町村の中で、土地の値下がり

が一番大きい地域として当町蟹田上町が、3月19日昼のNHKテレビのニュースで放映された。住宅地域が蟹田の沢32番地がマイナス3.2%、商業地域が蟹田126番地がマイナス3.2%と、共に県内一番の下落率になった。一度に両地域が一番になるのは珍しい。人口減少や少子高齢化現象は全国共通と

だが、蟹田が青森県ワースト1位になるような活力や魅力がない町になったのか、住民にとっては残念な思いである。当然地価の下落は個人財産が目減りし、また町の税収にも影響があると思う。



原 芳雄議員

◆質問／子どもや親の貧困率が広がる中で、就学援助の拡大を求める国民の声が高まり、国は2010年度に就学援助の対象項目に生徒会費、PTA会費、クラブ活動費を追加した。それ以降何度が町も3品目を補助対象にするよう求めてきた。その都度、財政上の問題や近隣町村間に格差が生ずると実施されていない。厳しい環境に置かれている保護者に就学援助の主旨に沿うよう改めて支給を求めたい。

■教育長／各町村では、地方交付税に算入されている額に一般財源を上乗せして支給している。現在もその時と状況は変わっていない。当分は現状

就学援助の追加3品目の支給を

■答弁▼財政上の問題や町村間に格差が生ずる等で現状通りとしたい



三厩こども教室

のままでの対応としたい。

◆質問／学校教育法19条は「経済的理由によって、就学困難と認められる児童、生徒の保護者に対して、市町村は必要な援助を与えなければならない」と規定している。国が就学援助対象品目としているものを自治体が発給しないという事は、貧困の格差を一層拡大する

ものである。追加3品目は必要でない援助なのか。実施すればいくらか経費が必要か。

■学務課長／要保護、準要保護は小中合わせて31名で19万円増額になる。

◆質問／列車とバスの接続は見込まれているのでその際見直したいということであったが、JR津軽線のダイヤ変更はなかった。従って接続は改善されなかった。今後どのように実現していくのか。

龍飛発一番のバスが三厩支所で乗り換えなしで外ヶ浜中央病院に行けるようになった事だけである。バスの時刻表には「このバスは、病院利用者優先のため、乗車定員を超えたことになった場合は、三厩駅で降りていただくこともありませう」と書いている。仮に三厩駅で降りられた場合、列車の出発まで62分の待ち時間がある。青森に行く方はほとんどが三厩駅発6時3分か8時16分の列車である。これに接続するバスがないので何らかの方法で駅に来れるよう検討しなければならぬ。

◆質問／予約式乗り合いタクシートの要求に、高齢者が、今何を必要としているかなど情報を収集して生活維持に向けた事業の構築を進めるとしてはどうか。

■町長／5月末に外ヶ浜町社会福祉協議会と委託契約を結び、高齢者のニーズを把握するためのアンケート調査準備をしている。この調査を進めていくなかで高齢者の移動、外出支援の課題も出てくると思うのでニーズを踏まえた上で、デマンド交通の必要性などの検討を進めていきたい。

デマンド交通の導入を



戎 修議員

第3セクター(株)エコエネの現状を示せ

■答弁▼風力発電による売電事業が100%となっている

◆質問／資本金の額、株主の人数、株主の持ち株の比率、従業員数、役員数、昨年度の売上金額と利益の金額、利益をどのようにに処分したのか、納税金額、現在の事業内容を示していただきたい。

■町長／外ヶ浜町が83.3%、(株)エネックスが8.3%、日本風力開発(株)が8.3%となっている。従業員数は1名で、役員は取締役が3名。監査役が1名となっている。昨年度の売上金額は3億3005万6000円で、当期純利益が5873万2000円となっており、人件費の金額は780万円、利益の処分はなく、納税金額は2721万7000円と

なっている。事業内容は、風力発電による売電事業が100%となっている。

◆再質問／今後の売上金額の見込みはどうか、今後の維持費が増大していくことに対する備えはどうなっているのか。

■町長／売上金額に関しては、昨年と同様と考えている。維持費に関しては、年数が経るに従って、大していくもので、特に、この2、3年以降にどんなにかかってくるだろうと認識している。実際、今年も羽根を一つ取り替えることにしている。消耗品の部品もあるので、今後どういった方向に進めていくのかということもろを考えていかなければ

ならない時期に入ってきたと認識している。

◆質問／今後社員の募集、また風力以外の発電や他の事業は考えているか。

■町長／人員については、増加することはなく、現状維持をしていく。今後の事業展開については、風力発電以外の事業は考えていない。



龍飛の風車

町有林の現状と今後の活用策について

◆質問／町有林は町民の財産であり、活用が期待される資源であり資産である。現状と今後について示していただきたい。

■町長／町所有の普通林の面積は、23ヘクタールで、内訳は蟹田地区17ヘクタール、平舘地区5ヘクタール、三厩地区が1ヘクタール。分収林は全体で182件、857ヘクタール、そのうち伐期を迎えているものが104件、456ヘクタール。地区別内訳は蟹田地区402ヘクタール、平舘地区131ヘクタール、三厩地区324ヘク

タールで樹種は大半が杉となっている。昨年度分収造林売り払いは15件、59.9ヘクタールであり、今年度は、公売予定として77ヶ所、255.98ヘクタールとなっている。

■産業観光課長／昨年度の売払額は、2987万7120円で、官収分が597万5424円。民収分として町収入分が2390万1696円となっている。

■町長／町としては、森林管理署に対し、今後とも分収造林を公売していただくよう要請していく。



東津軽郡町村議会議員健康管理セミナー



運動前にはまず血圧チェック



ナイスショット!

7月11日、東津軽郡町村議会議長会主催による、東津軽郡町村議会議員健康管理セミナーが、平内町の夜越山スキー場において開催され、当町議会からは6名の議員が参加しました。

血圧測定の後、ラジオ体操で体調を整え、場内にあるパークゴルフ場まで歩いて移動。パークゴルフ場では、いくつかの班に分かれてパークゴルフに挑戦し、悪戦苦闘しながらも楽しく汗を流しました。

結果は開催地の平内町議会が優勝し、当町議会は大健闘の末、惜しくも4位となりました。

県内施設への表敬訪問



東青地方漁港漁場整備事務所にて



東青地域県民局地域整備部にて

当町議会では7月19日、東青地方漁港漁場整備事務所と東青地域県民局地域整備部を、山崎町長とともに表敬訪問しました。

最初に訪れた東青地方漁港漁場整備事務所では、外ヶ浜町での工事の実施状況などについて説明を受けたあと、漁港整備などについて質疑を交えながら意見交換をしました。

次に、東青地域県民局地域整備部を訪問。国道280号バイパスの工事進捗状況や、今後の展望などについて説明を受けたあと、河川や避難道路の整備等について意見を交換しました。

町村議会広報研修会



受講中の議会広報特別委員

研修では広報紙について様々なことを学びましたが、「発行して終わり」ではない。読まれて初めて広報紙としてスタートする」との講師からのアドバイスが印象的でした。

5月22日、青森県労働福祉会館において、町村議会広報研修会が開催され、今後の議会広報活動に役立てるため、当町議会からも5名の議会広報特別委員が参加しました。

この日の講師は、グラフィックデザイナーの長岡光弘氏。前半は『広報紙制作のスキルポイント』と題して、広報紙の編集のポイントや、紙面構成についての講義を受けました。

後半は『町村議会広報クリニック』が行われ、県内5町村の議会広報を題材として良い点と改善すべき点を指摘し、アドバイスを送っていました。

県下町村議会議員研修会



講師の伊藤惇夫氏



受講中の当町議員

7月10日、青森市のリンクモア平安閣市民ホールにおいて、県下町村議会議員研修会が開催され、当町議会から6名の議員が参加しました。

この日の講師は、情報番組などメディアでも活躍されている政治アナリストの伊藤惇夫氏。「今後の政局・政治展望」と題した講演では、情報番組における司会者のウラ話や、国会議員の日常活動を披露して会場を和ませつつ、これまでの経験から得た教訓や、参議院議員選挙の予想も含めて、これからの政局・政治の方向性について講演しました。

産業建設常任委員会町内施設訪問



青函トンネル記念館にて



湯の沢温泉ちゃぼらっとにて



トップマストにて

7月29日、当町議会の産業建設常任委員会が、町内の観光施設を主体に、施設訪問を行いました。

三厩地区の青函トンネル記念館を皮切りにスタートし、町内8箇所の施設を巡回したほか、平館地区ではおだいばオートビレッジにおいて、平館観光協会と意見交換も行いました。

当日はあいにくの悪天候により、三厩地区の屋外施設を訪問することはできませんでしたが、各施設の管理者や役割担当課職員からの説明を受けながら、各施設の現状を確認し、今後の整備修繕に向けて、問題点の把握に努めていました。



平館観光協会との意見交換

議会広報特別委員会

委員長：安藤 英博
副委員長：福井 洋一
委員：浜谷 恭市/戎 修
高坂 茂/原 芳雄
記田 慶市

近年、地震、大雨などの災害が全国的に多発しております。災害の経験のない所で発生しており、改めて災害時の備えの大切さを強く感じるこの頃です。

令和初の6月定例会では、一般質問に6名が登壇し、活発な議会論戦が行われました。

全国で人口の減少が伝えられておりますが、我が町も新町誕生以来、同様の傾向です。

今後、高齢化や人口減少が加速していく中、町長始め職員の皆さんと議会が力を合わせて、新たな発想を持って対処し、安心して生活できる町づくりのため、町民の皆さんの声を大切にし、活かしていきたいものです。

町民の皆さんの様々なご意見をいただきながら魅力ある議会、開かれた議会を目指してまいります。

ぜひ、議会の傍聴にお越しください。

福井 洋一

編集後記